

FD 学外セミナー参加報告書

氏名： 梅津郁朗

所属/職名：理工学部 教授

参加セミナー名： 2014 年度第 1 回教学実践フォーラム

セミナー参加日時/場所： 2014 年 5 月 22 日（木） 13：00～立命館大学衣笠キャンパス

■ セミナー内容・所感・授業や本学への活用について

Flipped Learning（反転授業）に関してこの分野の第一人者の Aaron Sams 氏の講演とワークショップに参加した。

理解力の異なる学生へのビデオ教材の有用性、反転授業では授業に時間的余裕が生じ講義を応用、解析、評価、創造に展開することが可能であるとの解説があった。さらに効果的なビデオの作製法、ビデオ教材の効果的な利用法に関しての解説があった。

出席者からは学習意欲の低い学生にビデオを見させる方法の質問があったがそれに関する明快な解決策は提示されなかった。このことから筆者の感触としては、反転授業は学習意欲の高い学生が過半数である場合にのみ成立し安易に本学に導入するべきではない。

しかし Sams 氏が講演で述べていたことはいわゆるマスコミで騒がれている反転授業やビデオの活用が本質ではなく、如何に教室内で学生に創造的な活動をする時間を与えるかが重要であるということであり、この点に関しては大変参考になった。

「反転授業」という言葉に踊らされるのではなくその本質をしっかりと見極めて本学にマッチする教育手法を考案していく事が重要であろう。